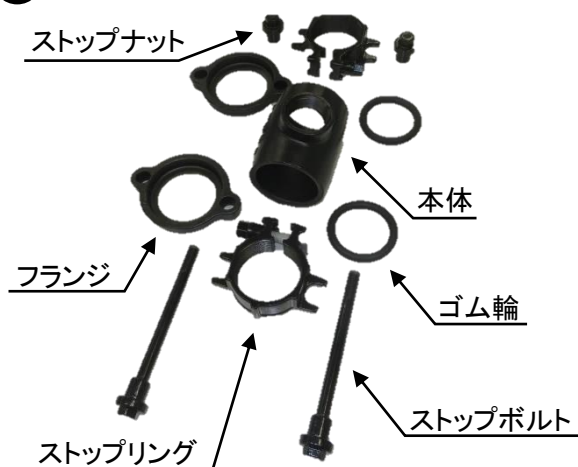


VP ドレッサーチーズ SR 付き 施工手順(65~150 用)

1 継手を分解する。



2 挿し口の清掃を行い、管端から A 寸の位置に標線を入れる。(表1:A寸の表参照)

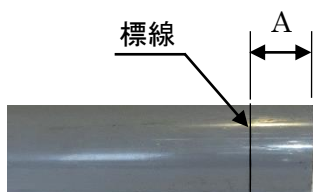
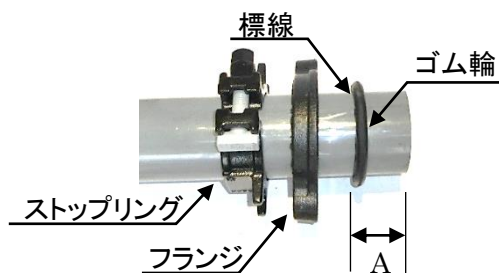


表1 A寸の表

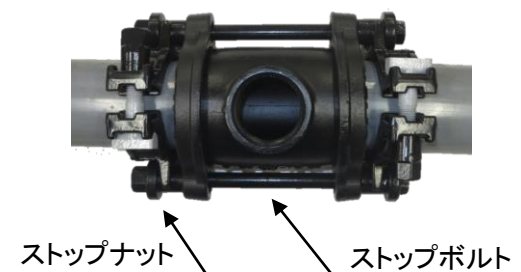
呼び径	塩ビ管
65	40
75	40
100	55
125	60
150	65
許容差	±5

3 管にストップリングとフランジを通し、接合部管端をきれいに拭いた後、ゴム輪を標線の位置まで挿入する。

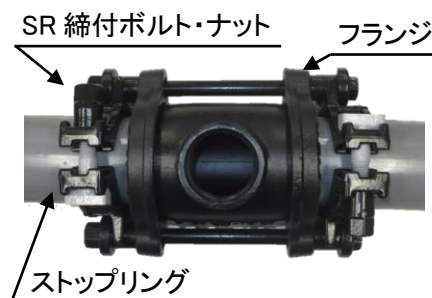
注)ゴム輪を挿入する際、ねじれが無いようにして下さい。



4 ストップリング・フランジにストップボルトを通した後、ストップボルトと接合管の管軸を合わせてストップナットを手締めにて仮締めする。



5 ストップリングとフランジが接した状態で、ストップリング締付ボルト・ナットをトルクレンチ等により標準締付トルクにて本締めする。



6 ストップボルト・ナットをトルクレンチ等により標準締付トルクにて数回にわたり均等に本締めする。

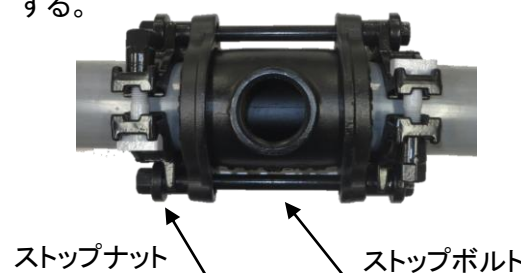


表2 標準締付トルク一覧表

呼び径	標準締付トルク(N・m)		ボルトサイズ(数)
	ストップリング締付	ストップボルト・ナット締付	
65	当て締め	40	M16 (2本)
75			
100	60		M16 (3本)
125	65		
150			

注) 過剰な締付トルクでの施工は漏水の原因となります。